

特定非営利活動法人日本シニアテニス連盟

会長 井川 宏

新年明けましておめでとうございます。

シニアテニス連盟の主要な行事として、昨年は3種類の全国大会を開催しました。

「第37回日本シニアテニス全国大会」は、地震による被害からの復興に取り組んでいる方々の元気づけを目指して、5月に熊本県で開催しました。被災地の一日でも早い復興をお祈りいたします。それに加えて、一昨年に始めた全国大会についての新しい試み2件の第2回目を実施しました。

参加した会員の皆様の親睦に重点を置くために一人で申し込みをし、本部でチーム編成をして試合ごとにパートナーが変わる団体戦である「第2回日本シニアテニス全国親睦大会」は10月に石川県七尾市和蔵温泉運動公園テニスコートで開催しました。幸い天候にも恵まれ参加された皆様には好評でした。会員の皆様により多くの親睦の機会を用意するとともに地域のより一層の活性化をはかることを目指した「日本シニアテニス連盟団体戦 in 秋田」は7月に秋田県で開催し、秋田県の新入会員が増加し活性化が進められました。

今年は5月に「第38回日本シニアテニス全国大会」を岡山県で、10月に「第3回日本シニアテニス全国親睦大会」を岩手県で、11月にそして「日本シニアテニス連盟団体戦 in 奈良」を開催します。

これらの全国大会に、多くの会員の皆様のご参加を期待しております。

ところで日本シニアテニス連盟の会勢の維持発展に必須の新入会員の数は、ここ数年間、年に約900人で推移してきましたが、平成30年は大幅に落ち込みました。理事会としては「会員増員計画」の実施を進めたいと考えておりますので、会員皆様一人一人のご協力とご尽力をお願い致します。

理事会の組織的な運営を目指してから3年が経過しました。まだ十分とは言えませんが、今年も更なる努力を続ける覚悟です。

鈴木義一初代会長が掲げていた「日本をシニアテニスの楽園にする」という目標を目指して、各理事と一体となって力を尽さなければならないとの思いを新たにしております。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

新しい年が皆様にとってよい年であるようお祈り申し上げて、新年のご挨拶といたします。